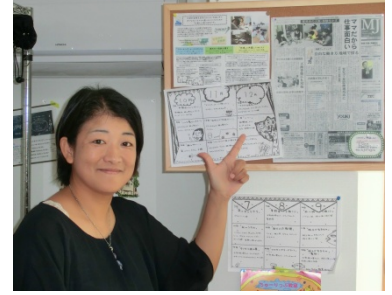


LCG 会員インタビュー

ひらの社会保険労務士事務所

代表・特定社会保険労務士 平野 雅美さま

<http://www.hr-hrn.net/>



平野先生はMyKomonのシステムをうまく活用されていると思いますが、いかがですか？

はい、とても便利な機能として顧問先とのやり取りで活用しています。先日もね、1社で複数名IDを発行して欲しいというご要望をいただきました。顧問先内の多くの担当者で、さらには社労士も含めて情報共有をしたいような場合には特に役立つシステムです。中でも顧問先の画面から見ることでできる「経営サポート」は顧問先でも活用できるものだと思っていて、勧めていますよ。例えば、書式が提供されていたりするので、それをアレンジして活用してもらうこともありますし、年末調整の流れが分かるようになっているので、顧問先の担当者にそれをみて、年末調整の準備を始めてもらう、そんなことをやっています。年末調整は年に1回ですが、この流れを見ると昨年のことを思いだされるようなんですよ。弊所では総務のバックオフィスとして、経営サポート等を利用しながら中小企業をサポートできればと思っています。

通常のメールに対して、MyKomonの電子会議室のメリットは何だと感じていますか？

メールを使っていると、振り分け機能を使うといった処理をきちんとしないと、どんどん情報が混ざっていきますよね。MyKomonの電子会議室では会社ごとに分かるので過去の情報を探するときなどには本当に便利です。相手が読んだかどうか分かるので、メールより対応しやすい！あ、以前、顧問先の役員が変更になったんですけどね、顧問契約が見直しになるかなと思っていたのですが、MyKomonで過去のやり取りを確認されたのでしょうね、顧問契約が必要だと判断してくれました。また、いずれはやってくる顧問先の代替わりのことを考えると、社長や担当者といらの事務所の過去のやり取りが履歴として残り、顧問先にとってのメリットも絶大だと思っています。また、代替わりだけではなく、中小企業は、担当者自身がマニュアルになってしまいがちなので、担当者の変更になることで様々な情報が分断されてしまうのですよね。それを補完するツールにもなるとしています。

そうそう、顧問先でその使い方は工夫しているな、というものがありました。それは、無人となる事務所にはおいておくことのできない履歴書や労働者名簿といった個人情報のデータをスキャンしてMyKomonの共有フォルダに置くことです。個人情報の管理がMyKomon上でできることと、どこでも確認できることの手軽さがウケているようです。もちろん、セキュリティーにも安心していきますよ。

新規顧客にはどのように案内されていますか？

本当は何らかの提案書を作成したいと思っているのですが、なかなかできずに……。今はLCGが提供しているMyKomonのシステムのチラシを、私が講師を担当したセミナー資料に入れるようにしています。こういうサービスがあるんだよ、ということは積極的に伝えておいた方がよいですからね。それから、見込客にはトライアルとしてID発行をしています。システム提供をしていることで、サービス提供の機会が少ない顧問先もフォローができています。他の社労士事務所との差別化にもつながっていると思いますよ。

さらには、MyKomon内でのやり取りであれば、24時間の有人監視ですし、セキュリティもしっかりしている。また、パソコン・iPad()でも確認できる。場所を選ばず確認することができる。土日はもちろんのこと、旅行先でもやり取りが手軽にできるので、とりあえず「月曜日に回答しますね」とすることで、素早い対応がしてもらえたと感じさせることができるので、便利ですよ。返答があるかどうかで顧問先が社労士に抱く印象は変わりますからね。今はMyKomonとskypeがあればどこでも仕事ができちゃう感じです。あ、話がそれてしまいましたね(笑)。推奨環境はパソコンのみです

楽しい給与計算も利用されているかと思いますが、いかがですか？

少人数の顧問先で利用するには便利なツールですね。そして、一番のメリットは社労士事務所側からも顧問先側から見れること。通常、給与計算ソフトは顧問先を訪問しないと見ることはできませんよね。そして、訪問となると時間も手間も取られてしまいます。効率化を目指している私にとっては、双方向から見ることもできるソフトはこれまでになかった秀逸なものだと感じています。目指している業務の効率化が相当できていると感じていますよ。あと、これは導入後、給与データがたまってきたときに感じたんですけど、労働保険の年度更新が便利！Excelで提供されているツールに楽しい給与計算からボタンひとつで書き出したデータを流すだけです。あっという間に賃金集計表ができます。Excelだからちょっとした手直しも簡単ですし。楽しい給与計算を通年(1年度)使って初めて感じたことでしたが、本当にサクサク進み、感動でした。

年末調整についてですか？確かに年末調整の機能はついていないのですが、csvでデータの書き出しができるので、そのデータを顧問税理士の方にお渡しして、完了です。必要なデータが手間なく書き出せるというのは本当に便利なことだと感じましたよ。

社労士向けコンテンツは利用されていますか？

はい、人事労務ニュースは毎日チェックしています。やはり情報収集は専門家として欠かせないですからね。リーフレットバンクも便利ですよ。これはセミナー資料を作成しているときに頻繁に利用しますね。他にもPHPのアーカイブズ+、急に勉強会講師を頼まれたことがあったのですが、少し専門とは違う分野で困りましたが、ビデオを見て勉強し、ぱっちりでした。今後は通達・マニュアルライブラリにも期待しています。セミナー資料作成にはやはり役立ちそうですね。顧問先への情報提供として利用しているのが、ニュースレターです。名入れもでき、オリジナリティーが出せますので、役立っています。

その他にも 社労士業務支援ツールは日々の業務の中で大活躍ですよ！特に頻繁に使っているものとして、対象の顧問先の年収をプロット図にして示すことのできる「賃金診断コンサルティングツール」があります。また、社内手続きや公的機関に出す手続きが一覧になっている業務チェックリスト、書式集も使っていますね。業務チェックリストは全部で18種類あるのですが、特に「出産・育児関連」、「介護休業関連」の利用頻度が高いです。これら、休業に関することは細かな手続きが多くありますし、働く人にとって受けられる給付になりますので、もれなくやっていきたいですね。そして、書式集は「持病に関する申告書」といった、法律で定められているもの以外のものもありますので、実務の参考になりますよね。いずれもWordで提供されているので、ダウンロードして、ひらの事務所として・対象顧問先として必要なアレンジをして利用しています。

本当はセミナーも積極的に出たいとは思っていますが、夕方からの開催は家族のこともありますので難しく見送ることが多いです。また、丸1日のものや、日程が連続になるものは業務への支障を来す恐れもあるので少し敬遠しがちですね。参加したいセミナーがたくさんあるんですけどね。

LCG 会員インタビュー

社会保険労務士法人エール（代表 2 名、職員 12 名、顧問 1 名）

代表 特定社会保険労務士 鎌倉 珠美さま

<http://www.sr-yell.com/>



【LCG】

「朝、出社したらまずMyKomonを開く。MyKomonは弊法人の業務になくてはならない存在になりました。」

エールさんではMyKomonをどのように活用していますか。

そうですね、顧客とのやり取りはもちろんのこと、グループウェアも活用しています。職員のスケジュールもすべて入っていますので、まずは朝出社するとMyKomonにログインするところから業務が始まります。以前は違うグループウェアを利用していたのですが、現在は、日報も業務報告も伝言メモもMyKomonに統一しています。というのもMyKomonでは、事務所内のグループウェア機能だけでなく、社労士業務に役立つツール、顧客とのやり取りをする機能、顧客ごとの生産性（どの顧客に何時間を必要としたか）が見える機能まであり、これが専用サイト1つで利用できるんですね。やはり「あちら」「こちら」と複数運用するのではなく、一つでまとめてできるというのは便利ですね。MyKomonは社労士が作っているだけあって、社労士の「これが欲しい」というものが形になっている、かゆいところに手が届く、そう感じています。

顧客とのやり取りをする電子会議室、あれは便利ですね。弊法人では顧客とのやり取りをどのように共有するかが課題になっていたのですが、電子会議室であれば書き込みを行った時点で、お客様とあらかじめ設定してある職員で情報共有をすることができますよね。顧問先ごとに会議室を設定し閲覧者を選べますし、なんといっても誤送信が発生しません。外出先からも確認できますし、場所を問わず仕事ができるのも便利です。これも電子会議室を活用している理由といえますね。

また、顧客管理ツールでは、顧問先がどのくらい利用しているか確認できますし、顧客ごとに生産性を算出できるのもすごい機能だと思います。職員にとっては厳しいかもしれませんが、どのお客様からどのくらいの報酬をいただいている、何時間かけているのか、目にみえにくい顧問というサービスの生産性をはかる機能は画期的だと思います。

エールさんではこんな使い方をしているよ、というものはありますか。

顧問先との給与データの受け渡しやマイナンバーの受け渡しにも活用していますよ。また、電子申請の控え書類を顧問先にお渡しするのも電子会議室を利用しています。これも便利ですね。やはりMyKomonに機密性があるからこそできることだと思っています。帳票類を印刷して送るということがないので、郵送トラブルも当然ありませんし、郵送コストの削減にもなっています。トータルで顧問先にも喜んでいただいています。

それから社内の情報共有にも利用しています。社内で共有したい情報は電子会議室を使って、ツリーで情報を追加していき、所内文書として管理しています。職員同士で同じような質問を何度もする必要がなく、新人の職員でもこれを確認することで対応ができます。

どのような環境でMyKomonを利用することが多いですか？

所内ではデスクトップ上で常にかいていますね。外出の多いメンバーは出先からスマホで確認することも多いです。やはり移動時間や空き時間に確認できるのは便利ですね。先日、韓国に行ったのですが、普段通り事務所の状況も把握できますし、日報も見れますので、改めて場所を問わずに仕事できる便利さを実感しました。育児や介

護を抱える職員の在宅勤務などにも活用できるのではないかと考えています。

顧問先様への導入はスムーズにいききましたか。

実は、キャンペーンをやりました。毎月エールで発行しているニュースレター（エールスピリッツ）があるので、それに「MyKomonのサービスが始まります」という特集を組んで、利用するメリットを載せ、顧問先に申込みをしていただく形にしました。定期訪問している顧問先には担当者から直接、ご説明もさせていただいたので、そのときにかなり申込みがありました。その後も数ヶ月にわたり、MyKomonのことを掲載していきました。もちろん、まだメールでのやり取りが残っているのですが、かなり切り替えることができたと思っています。やはりセキュリティ面を気にするお客様も増えてきていますので、高いセキュリティの中でやり取りができるMyKomonは安心頂けるようです。やりとりの都度、担当者の顔写真が出る点も、訪問できないときには補足になっていると思います。今は、新規先は提案から契約という最初の時点からMyKomonを案内し、マイナンバーのやりとりや電子納品についても、これを弊法人のウリのひとつとしています。その時にMyKomon ヘルプの中にあるチラシを利用していますが、新規先の多くは、利用してくださいます。

各種コンテンツについてお話を伺えますか。

なんと言ってもそのリリースに驚いたのが、「通達・役所マニュアルライブラリ」。これはすごいと思いました。インターネット上では見ることのできない、役所でも見せてもらえない情報ですからね。顧問先への相談対応根拠にするのももちろんのこと、例えば社会保険の調査が行われる際に、特に注意すべき点をお伝えすること等で活用しています。顧問先は「調査がある」というだけで大きな不安をもたれるので、その不安を軽減できるというのは社労士事務所として価値がありますよね。また、役所マニュアルについては社内教育用資料としても活用しています。これからも充実してもらいたいと思っています。

それから、弊法人は特別会員なのですが、セミナーレジュメのダウンロードサービスも本当にありがたいです。セミナーのレジュメづくりは本当に大変で、これをゼロから作るとなると本来、話すことに注力しなければならないに関わらず、レジュメづくりに多くの時間をとらざるを得ない状況になってしまいます。だから、このようにアレンジできるレジュメがあると、自分が必要と思う部分のみを修正して完成させられるので、かなりの時間短縮になり、短縮できた時間分を他の業務に振り替えることができますよね。このレジュメ、セミナーだけではなく、お客様への情報提供資料としても使えますので、アレンジして訪問時のツールとして持っていったりもしています。また、事務所内でのミニ勉強会にも活用しています。

他にも人事労務ニュースも確認していますし、就業規則・書式も利用しています。リーフレットバンクも、通常は厚労省のホームページなどに行って探さなければなりませんが、MyKomonではそれぞれにあるリーフレットがまとめられているので、さっと取り出そうと思った時にすぐに出せる。本当に便利です。当然、いろいろな場面で活用しています。

その他、何かありますか。

MyKomon は本当に社労士の目線に立ったシステムになっていると思いますし、社労士が欲しいツールがあると思います。システムの操作もわかりやすいですね。それから、要望に対応するスピードも速い。こまごまとした要望を過去に出したことがあるのですが、すぐに対応していただきました。もちろん、対応できるものとできないものがあるとは思っていますが()。

マイナンバーの対応も早くから、顧客との受け渡し機能が追加され、動画マニュアルもわかりやすかったのですが！と感じました。

弊法人では、MyKomon を利用できないと業務が進みません。特にグループウェアについては入力方法を統一することで、きちんと管理をしていきたいと思っていますので、全員が同じように利用するよう、社内マニュアルを作成しています。今回新たな活用方法を教えていただいたので、現状、アナログでやっている日報と工数管理を

教えてもらった方法でやってみたいと思います。こう考えると、提供されているシステムをどのように使うか、その方法は型にはめずにいろいろ考えていくことができそうですね。せっかく利用できるものですので、どんどん利用していきたいと思います。これからも社労士の視点に立ったサービスを期待しています。

LCG 事務局では、会員みなさまからいただいた要望について、その内容を検討、対応の可否、優先順位を決定し、システム改良を進めています。

LCG 会員インタビュー

HR プラス社会保険労務士法人（職員 11 名）
代表社員 特定社会保険労務士 佐藤 広一様
<http://www.officesato.co.jp>



【LCG】

「顧客にMyKomonのIDを発行することで弊所と契約したんだという実感を持ってもらえます」

佐藤先生の事務所ではどのようにクライアントにMyKomonを導入・浸透することができたのですか。

実は、弊所では、最初MyKomonをどのように使えばよいかわかりませんでした。システムがあり、クライアントとのやり取りができるということはもちろん知っていたのですが、うまく使いこなせない。そんなときに、ある職員に推進をお願いところ、あっという間にクライアントと事務所に浸透していきました。取り組みを始めたから早かったですね。やると決めればできるものです。クライアント全件にMyKomonのIDを配付し、利用してもらうようにしました。これまではメールでやりとりをしていたため、メールに慣れていることもあり、全件完全にMyKomonに切り替えられたわけではありません。ただ、アドバイザー契約である場合や、セキュリティに敏感なクライアントは早く切り替えができました。なかなか好評ですよ。

代表社員として、職員の書き込みが確認できるのもいいですね。ちなみに新規のクライアントには、業務委託契約書とともに、ID通知書と利用マニュアルを送ることにしています。結構気に入っているのがMyKomonのシステム内にあるID通知書。Excelでできているので、弊所のホームページのURLとそこに貼ってある「クライアント様専用ページログイン」というバナーを入れる加工をしています。クライアント側もIDとパスワードを受け取ると何だか契約をしたって感じがするんじゃないですか(笑)。

クライアントに導入した際に、何か困ったというようなことはありませんでしたか。

そうですね、クライアントのパソコンがMacだったんです。Macでは正常には見ることはできませんよね？()
これにはちょっと困りましたね。あ、でも、スマートフォンでは便利に使っていますよ。スマホで利用し始めたのは、グループウェアがリリースされ、弊所で導入されてからです。職員が書いた日報をスマートフォンの対応ページで見ることができ、日報に対するコメントも書ける仕様になっています。これは便利ですね。私は出張も多く、職員に任せている業務も多いので、日報に一言コメントをその場で返信したいのです。このコメント機能、確か最初はスマホ非対応でしたよね。LCG事務局に要望を出して、対応してもらったんです。結構、いろいろ要望を出していますが、すぐに対応してもらえるものも多いので感謝していますよ。システムの方から要望のヒアリングということで連絡をいただいたこともありました。そのように直接伝えられるというのもいいですね。

ニュースレターを利用されていると聞きましたが、いかがですか。

ニュースレターは毎月、利用しています。クライアント全件に郵送しています。先日、LCG事務局でも外部の印刷業者を紹介されていましたが、実は弊所でも以前から同じ業者を利用していたんですよ。単純に印刷するのではなく、小冊子印刷にしてもらっています。事務所の複合機で印刷したものと比べると、かなりよいイメージに変わりますよね。ニュースレターは名入れができてオリジナリティーも出せますし、いいですね。そうそう、ニュースレターを送っている理由のひとつには顧問料を毎月いただいているにも関わらず、特にトラブルが起こらない、毎月提案することもないというクライアントというものもあること。ニュースレターが送られてくるというのは弊所と契約をしていると実感していただく効果があると思っていますよ。

今後使ってみたいコンテンツなどがありますか。

気になっていたものとして「楽しい給与計算」があります。これってどういうものですか？手書きでやっている給与計算をパソコンでやろうというコンセプトですか。なるほど。デモ画面を見ると、かなりシンプルな作りになっているんですね。確かに従業員数が少ない事業所であれば、勧めることができそうです。事業所の新規適用時に就業規則を作成するなど、スポットでいろいろなお手伝いをするんですけど、そこから顧問としてつながることは案外少なかったりする。また、従業員数が少ない事業所の給与計算ソフトってなかなか紹介できていなかったんですね。これであれば勧められるかもしれませんね。社労士事務所側からもリアルタイムで同じデータを見ることができるし、データをダウンロードできるということも考えると年度更新のときにはかなり効率的に利用できそうですね。新規先とも継続的につながることができそうですし、そうなるとう何か相談したい事案があったときに、弊所へという流れもできそうです。料金的にも気にならないし、給与計算のリースとして弊所が料金をいただいてもいいんですね。

グループウェアでの工数管理や生産性分析は利用されていますか。

はい、利用しています。工数管理では職員がどのクライアントにどの程度時間を割いているかがわかるので、仮に膨大な時間がかかっているクライアントがあった場合には、その理由を確認するようにしています。クライアントの報酬も登録しているので、生産性分析で1時間あたりの報酬単価も見ることができますよね。分析した結果、一定程度の単価を切ってくると、業務効率を上げるための改善や、場合によっては報酬の見直しといった対策の必要性に気づくことができます。現在、クライアントの情報は Excel で管理していますが、MyKomon のシステム内に顧客管理の機能が付いたのですね。スケジュールや日報等いろいろな機能に紐付けできるのであれば、利用してみようかな。検討してみたいと思います。

その他、何かありますか。

コンテンツのリーフレットバンクは、セミナーのレジュメ作成の際などによく利用していますね。通達・役所ライブラリがリリースされたんですね。これまであまり見ていなかったの、見ることにします。そうそう、いまふと給与明細配信の web 機能ができないか、なんて思ったりもしました。今後もまたいろいろ要望等が出てくると思うので、お伝えしますね。

今日はいろいろお話を聞かせていただき、ありがとうございました。

LCG 会員インタビュー

廣兼社会保険労務士事務所

代表 社会保険労務士 廣兼 絹子 様



【LCG】

「MyKomonを利用して昨日より今日のほうがちょっと便利になったね、
と感じる顧客と付き合いたい」

LCGに入会したきっかけはどのようなことでしたか？

最初は税理士さんに教えてもらったんです。人事労務に関するセミナーを多く主催するコンサルティング会社があるから、という話で。「説明会があるから出席したらどう？」と勧められ、博多でLCGの説明会に出席し、その場で申込みをしましたよ。最初は各種セミナーの参加が目的でした。最近はセミナーにも参加できていなかったのですが、また参加したいと思っていますし、いろいろなセミナーを福岡でも開催してほしいですね。

最初は電子会議室など、システム利用はあまりされていなかったのですか？

LCGへの入会のきっかけがセミナーでしたので、MyKomonのシステムを最初から使っていたわけではありません。そんなときに、個人情報の含まれるデータをお客様とやり取りをする機会があって、なんとか安心してデータをやり取りできないかな、って考えたのです。そのときに思いついたのが、MyKomonでした。システムに抵抗感がなく、むしろ、システムが好きなお客様でしたので、試しで使ってみようということになりました。実際に使ってみると、とても便利！もう、これなしではいられなくなりました。そういえば、お客様が電子会議室に添付したファイルを「1ヶ月後に削除」という設定をして書き込んでこられたことがあり、最初はその機能を知らなかったのも、お客様の方が機能を使いこなしている！と、びっくりしました。電子会議室には、実は便利な機能がたくさんついていることを改めて知りました。きっとまだまだ自分の知らない便利な機能もあるんだと思います。

電子会議室にはどのようなメリットがあるとお考えですか？

まずはセキュリティ。個人情報を扱う上で、やはりセキュリティって大切ですよ。それから、わかりやすさ。電子メールでのやり取りでも、もちろん不自由なくできるのかもしれませんが、やり取りが掲示板形式で、ずらっと並ぶってすごく見やすくてわかりやすいです。このお客様の人事労務に関する相談履歴は、双方が電子会議室内ですべて確認できるってことです。どんどん、お客様の情報がここに蓄積されていくのもメリットですよ。電子メールですと、どうしてもいろいろな情報が混在してしまい、過去の必要なやりとりを探すのに時間がかかって無駄な時間を費やすこともありましたが、電子会議室を利用するようになり、それがなくなりました。

ニュースレターを利用されていると聞きましたが、いかがですか。

あれはいいですね。発信方法としては2つあります。まずはオーソドックスに紙での配信。顧問料をいただきながらも、ご相談が少ないお客様もいますから、定期的な情報発信もしていかなくては、と思い、印刷をして発送しています。もうひとつが、PDFでの配信。紙ではなくてPDFの方がいつでもどこでも読めるからと、お客様によってはPDFが喜ばれます。電子会議室内で提供するケースもありますよ。

今後使いたい機能はありますか。

共有フォルダですね。就業規則や労働条件通知書のひな型を入れておきたいな、と思います。「慶弔休暇の日数何日だったっけ？」とお電話いただくお客様もいるのですが、「共有フォルダに情報を入れてありますよ」って言えると便利でスムーズかな、と思っています。

楽しい給与計算は利用されていますか。

使っていますよ。シンプルな機能がとてもよいですね。ややこしい設定をしなくても、従業員の名前と給与額を設定すればすぐに始められるイメージです。社会保険料が変わるときのチェックなどは事務所側でやり、後はお客様ご自身で計算していただく、という流れを作っています。給与計算ソフトはさまざまありますが、あまりに設定項目が多いと設定にかなり手間がかかるので、楽しい給与計算は設定もシンプルで、小規模な会社にはぴったりですね。

サポートセンターにご連絡いただいた際の対応はどうか。

いつでもお電話がすぐにつながるので、安心して問い合わせをすることができます。やっぱり、つながる、教えてもらえる、って言う安心感って大切ですね。わからないときは何でもサポートセンター聞いてよいのかな、と感じています。

その他、何かありますか。

今ではMyKomonを便利に使っているのですが、「便利だよ」と人に言われて自主的に使ってみる人って少ないのではないかなと思います。自分が使ってみて「便利だ」と感じて利用が浸透していくようなイメージですね。だからまずは使ってみるということが大切に感じます。職員さんのいる事務所では、所長から「使ってみろ」と業務命令として命じることも重要なのかも。それが「便利だ」と感じるきっかけになるかもしれません。私は「昨日より今日のほうがちょっと便利になったね」と感じるお客様とお付き合いできることが楽しいです。今後はMyKomonの便利な機能をもう少し探掘りして活用していきたいと思います。

今日はいろいろお話を聞かせていただき、ありがとうございました。

LCG 会員インタビュー

社会保険労務士法人九州人事労務オフィス（職員 6名）

代表 社会保険労務士 野田 英紀 様

<http://kyujinji.com/>



野田先生の事務所ではどのようにMyKomonを活用されていますか。

まず活用しているのが、「グループウェア」ですね。事務所は私と妻の二人体制です。私が主に外出の業務を行ない、妻には事務所で給与計算や手続きをしてもらっています。「グループウェア」のカレンダーには、外出先からでもすぐに予定を入れられて、二人の間での情報共有をすぐに図ることができていてとても便利に使っています。予定は、業務の種類ごとに色分けをして見やすく工夫をしていますよ。私の場合、本業の社労士業務だけでなく、商工会議所の青年会での役回りもあるので、その予定もここに入れて一元化しています。仕事関係のToDoもカレンダーに入れています。社会保険の手続きなどもToDoに入れておくことで、提出期限の管理ができています。Googleカレンダーと連携しているところも良いですね。以前は、システム手帳を使って紙で管理するだけでしたので、情報の一元化によって、所内共有や手続きのし忘れを防ぐことに役立っています。カレンダーに登録した予定から顧客ごとの工数分析ができることも便利で、この顧問先にはこんなに時間がかかっているんだなと業務の見直しをするための参考にもなっています。

あと、よく使うのが「電子会議室」や「共有フォルダ」ですね。顧問先からの相談に対応する際や、データファイルのやりとりをする時に活用しています。安全性やセキュリティを気にされる顧問先には、MyKomonは金融機関並みのセキュリティですよとお伝えすることで、安心して利用いただいています。実は、新しく顧問契約をする方へお渡しする顧問契約のサービス内容紹介の案内にも、MyKomonの紹介を入れています。新規先の営業に行くときには、「電子会議室」などの紹介チラシをあらかじめ印刷して用意しておいて、訪問先では「独自のシステムがあって…」と紹介していますよ。（笑）

どのような環境で MyKomon を活用することが多いですか。

事務所ではもっぱらパソコンですね。外出先では、スマートフォンで閲覧をしています。インターネット環境さえあればどこでも見ることができるのは非常に便利ですね。そういえば以前、沖縄に出張で行った際に、急遽その場で給与計算の対応をしなければならなかったことがありました。給与計算ソフトが入ったパソコンなど持ち合わせていなかったんですが、「楽しい給与計算」を活用して、その場で会社や従業員のデータを入力し、すぐに計算結果を納品することができました。旅行先や休暇中でパソコンや資料などを持ち合わせていない時でも、インターネット環境さえあれば、MyKomonを使って緊急対応ができるということは安心ですね。外出先であっても、セミナー開催や新サービスなどの最新情報はLCGのフェイスブックの記事などで入手できており、タイムリーな情報発信をしていただき助かっています。

ニュースレターなど顧問先に向けての情報発信ツールは活用されていますか。

「ニュースレター」は、医業福祉版（ ）も含めて、紙での配布を始めています。ちょうどこれからニュースレターをどのように活用していこうかと妻と相談していたところでした。PDF形式で電子会議室に貼り付けることで、顧問先にデータ形式で渡すこともできるんですね。それなら、印刷コストがかかりませんね。なるほど。今後使ってみようかな。

医業福祉版のニュースレターは、医業福祉部会員専用となります。ご利用希望の方は別途ご入会ください。

その他のツールの活用はいかがですか。

給与計算や社会保険の手続きに関しての「業務チェックリスト」は大いに役立っています。例えば、月次の給与

計算チェックリストは、給与計算ソフトに合わせて自社用にアレンジして1枚ものの独自のチェックリストにしています。チェック結果を「グループウェア」の機能にある「日報」に登録することで記録も残しています。

就業規則などの規程や書式のひな型や退職金などの試算ツールもよく使います。官公署のリーフレットや通達がまとめられた「リーフレットバンクプラス」、「通達・役所マニュアル集」も重宝しています。セミナー講師を行なう際のレジュメ作りをするときに、根拠を示す資料として便利です。ジャンルやキーワードで簡単に検索できる点も良いですね。今のままで十分ですが、しいて言えば、助成金関係のパンフレットがもう少し充実するとさらに良いかなと思います。

今後使ってみたいコンテンツなどがありますか。

過去に開催されたセミナーのビデオや音声視聴できる「オンラインセミナー」は、コンテンツとしては良いですね。前から使ってみようとは思っているんですが、忙しいとなかなか時間が割けないでいます。いつでも見られると思うとなかなか見ないものですね。（笑）

あとは、共有フォルダに電子申請の公文書を保存して管理できるように所内で取り組みを検討しています。顧問先の手続きはほぼ電子申請で処理しているので、MyKomon を合わせて活用することで効率化を図れたらと思っています。

最近は、「海外人事労務サービス」なんていうのもあるんですね。今日初めてみましたが、改めて見返すと色々なサービスがあっておもしろいですね。

今後あるとよいサービスはありますか。

法令や判例のデータベースがあると便利かなと思います。今は、書籍やインターネットで調べたり、あとは「最新判例実践講座」で取り上げられた判例をチェックしたりしています。

MyKomonだけでなく、LCGのサービス全体としてはどのような活用をされていますか。

「コンサルティングスキルアップ講座」や弁護士の先生が講師をされる「最新判例実践講座」をはじめ、セミナーにはよく参加しています。LCGのセミナーは色々なセミナーが比較的安く受講できる場所も魅力です。LCGのセミナーの中では、合宿形式のものや見学会も好きですね。全国トップクラスの社労士の先生方が集うので、セミナーの内容だけでなく、懇親会などで社労士の先生方と実際にお話することからも得るものが多いです。良い刺激を受けています。今後の企画として、有名な社労士の先生の事務所にお邪魔するような訪問企画もあるとおもしろいかもしれないですね。開催があれば是非参加したいです。

本日はいろいろお話を聞かせていただき、ありがとうございました。

LCG 会員インタビュー

A 社会保険労務士事務所（職員 4 名）

A 代表（特定社会保険労務士/女性）

「しづしづ使ってみたらとても便利だった、そんな声をいただいています」

特に電子会議室を便利にご利用いただいているとお聞きしたのですが。

顧問契約いただいているお客様には原則としてMyKomonのIDを発行し、MyKomonでのやり取りをお願いしています。メールのやり取りでは投稿が前後で錯綜したり、管理が上手くできず返信漏れが生じる可能性があります。それに比べて電子会議室には「スレッド表示」「未読管理機能」などメールにはない整理機能がありますので、電子会議室にいったん慣れてしまうと、メールのやりとりで業務を進めていくことに圧倒的な不便さを感じてしまいます。

電子会議室の価値を特に大きく実感するのは、企業側のご担当者様が変更となったときです。電子メールと異なり、過去のやり取り履歴が電子会議室上に残され、蓄積されていますので、新任のご担当者様は過去の履歴を見て、当事務所とのやり取りにどのようなことがあったか、「手続きの流れ」をはじめ、「ケースごとの対応の仕方」なども、ご自身で把握できます。メールでは個人のメールボックスで管理されることになるため、いくらCC等を使っても限界がありますよね。この「やり取り履歴が蓄積される」という事は大きいと考えています。それは弊所側でも同じことが言え、新入職員は電子会議室の過去の履歴を見ながら、手続きの流れや個別の対応の仕方を学んでいきます。さらには細かい話ですが、中小企業では会社ごとに担当者様のコミュニケーションの仕方に個性があることがあります。極めてシンプルでオフィシャルなやりとりで良いのか、もしくは多少親しみ感のある対応を期待されているのか、過去の履歴を見れば一目瞭然なので、コミュニケーションの温度感というか、空気を読むのにも役に立つようです。

また、万が一の際、お客様との間の「言った言わない」トラブルの防止にもなると考えています。小規模な会社様ではお忙しい経営者様が担当者も兼任されているケースもあります。そういった場合、なかなか社長様ご自身で書き込みをする余裕がなく、電話で済まされることも多いです。その際に電話でお聞きした内容を、「備忘のため」と称して、弊所側から電子会議室に投稿しておきます。そうすることで、お忙しい経営者様も後から確認することができ、すれ違いを防ぐことができます。

便利だなあと感じるのは「共有付箋ボード」です。何度も同じ質問がくることが予想されるような場合（例えば、「社会保険の扶養の要件」など・・・）、1度回答した投稿を共有付箋ボードに貼り付けておくことで、お忙しいお客様の備忘にもなります。また電話で話しながら、「ああ、この投稿見ていただきたい」と思った時など、「関連する過去の投稿を、今、共有付箋ボードの『一番上』に貼り付けましたので、ご覧ください。」とお伝えすることで、お客様に同じ投稿を開いていただきながら、話を進めることができます。まさにホワイトボードのような役割ですね。

クライアントにMyKomonを導入・浸透することに問題はありませんでしたか。

もう長く使っているので、あまり覚えがない部分がありますが、確かに苦労した記憶がよみがえってきました。やはり、お客様に提案をしてもすんなりと受け入れてくれるところばかりではありませんでした。特にパソコンが得意でない方についてはかなり強い抵抗感がありました。こちらが投稿しても返事がないことが多いなど。ただ、どちらかというと、すぐに導入してくれるお客様の方が多いです。若い方に多いのですが、新しいものに積極的に取り組んでくださる。使ってみたらとても便利に感じたという流れですね。そういえば、しづしづ導入してくださったお客様でも今はとても便利に使っていただいているところもあります。私の印象ですが、「テーマごとにスレッドが出来上がっていく」過程を実際に体験することで、メールとは違う便利さを大きく実感していただけるよう

な気がしています。だからこそ使っていただかないと分からない。まずは、使ってもらってみる。私はそんなスタンスです。いったん導入が見送りとなったお客様でも、例えば代表者がお父様から息子さんに変わるときに、再度提案してみることもあります。代替わりの支援をする一環で、弊所とのやり取りを履歴として残していきましょう。これで実際に利用開始となったお客様もあります。息子さんの代になると本当に見事に使いこなしてくださって、「ああ電子会議室があってよかった」としみじみ思うことになります。一方で、あまりにも抵抗感を示した方には無理強いしない、話題にも出さない、そんなことも決めています。

クライアントとのどのようなやり取りで電子会議室を使うことが多いのでしょうか。

スタンダードな使い方だと思っています。手続きが中心の顧問先は、手続きの連絡を電子会議室に書き込んでいただき、職員が中心となり手続きを進めてくれます。手続きは電子申請が中心ですので、処理が終わった通知書等はPDF等により共有フォルダに格納した上で、手続きを完了した連絡を MyKomon ですといった流れになります。基本的に、MyKomon をご利用いただいている顧問先様分は職員全員が書き込みを見ることができるようにしています。弊所は育児中の職員も業務を担ってくれているので、いつ、だれに、なにが起きてもフォローできる体制をとっていたいと思っています。ですから、担当制ではなくみんなが同じ業務を同じレベルでできるようにする。できるようになる。これを目指しています。電子会議室はそういう意味で、社労士事務所内部でのお客様とのやり取りも含めた情報共有力はとても高いですね。助かっているところです。とはいえ、閲覧・やり取りの可否を職員ごとに設定している会社様もあります。というのも、先ほどもお話をしたように、育児中の職員であれば、時間に制約がある。すべての書き込みを読む、という作業はかえって負担になります。職員たちそれぞれの勤務時間やスキルに応じて、今はそういった負荷をかけるタイミングではないと判断した場合は、複雑な相談が多く、長いスレッドが延々と続くような会社様の閲覧は制限し、職員にとって「『未読』がたまるストレスを防ぐ」という工夫をしています。

MyKomonを使うことに対して、職員さんの抵抗感はありませんでしたか？

あまり抵抗はなかったようで、便利に活用してくれています。新たにお客様が電子会議室を導入してくれる時は、職員たちもとても嬉しそうにしています。というのも、育児等で勤務時間に制約のある職員たちが、限られた時間内で、もれなく正確に処理を進めていくのには、電子会議室のスレッド表示、未読管理、検索機能、共有付箋ボード等のシステムは不可欠なのです。お客様との連絡の手段は電話やFAX、メールがありますが、確認する時間に職員との差はあるもののMyKomonは、私が目を通してということが良くわかるので、何かあれば、そこでフォローもしてくれる、確認してくれるという安心感も大きいのではないのでしょうか。そして、電子会議室の使い方は至ってシンプル。ですので、すぐに慣れてくれたような印象があります。正直、他のシステムで同様の機能を持つものがあり、案内されることもあるのですが、MyKomonの電子会議室で特に不便を感じていることもなく、使い慣れている上、すでに多くのお客様に喜んでご利用いただいている。そうなる、もう変えられません！ですので、他のシステムの動向も視野に入れつつ、今後もさらなる改良・改善を実現していただきたいとMyKomonに期待しています。

今後の事務所のテーマはマイナンバーとお聞きましたが、

これまではマイナンバーの収集ができていないお客様もありましたが、昨今の流れではマイナンバーの収集は必須となります。ですから、うまく収集する仕組みを探しています。マイナンバーは流出したときのリスクが大きいので、万全のセキュリティのもとでの受け渡しをしたいものです。そこで、MyKomonの電子会議室の「マイナンバー連絡」の活用を検討しています。先日までは電子会議室でマイナンバーを受け取って、手続きが完了した時点で、マイナンバーの即時削除機能を使い、マイナンバーを削除することで、使い終わったデータは残さないようにしてはどうかという話をしていました。ただ、私としては、削除してしまった後にマイナンバーの入力ミスがあったり、役所から問合せがある等、再度、情報が必要になったときにはどうしようという不安があったのです。する

と、MyKomonのサポートの方が「30日で自動的に削除されるので、無理に即時削除の機能を使わなくてもいいのかもしれないですね。」と提案くださったので「なるほど!」と思い、検討中です。このような機能を上手く利用することでマイナンバーの対応を進めたいと思っています。お客様にとっても、使い慣れた電子会議室でマイナンバーのやりとりができるなら、非常に助かるのではないかと考えています。

その他、何かありますか。

今日は電子会議室のことをお聞きしたいということでしたが、日々の人事労務ニュースも実務に非常に役立っています。法改正もそうですが、労務関連・社会保険関連の実務での取扱いの変更も頻繁にあるので、できるだけ早めに、漏れなく情報を収集していきたいと思っています。ですから、MyKomon ログイン後に表示される人事労務ニュースは職員含め、必ずチェックしています。綿密な情報収集はたいへんかと思いますが、これからも期待しています!

今日はいろいろお話を聞かせていただき、ありがとうございました。